

## 認定心理士の会から

### イベントは対面がよい？ オンラインがよい？

人々の心の健康と福祉の増進を目指すべく認定心理士の会では数多くのイベントを企画・運営しています。9つの地域支部によるイベントに加えて、新刊連動講座の開催も盛んです。これらはとても喜ばしいことなのですが、イベントを開催する際に、対面形式・オンライン形式・ハイブリッド形式での開催のどれがよいのかはいつも悩むところです。

コロナ禍も以前に比べれば落ち着きを見せ、イベントも一律対面形式に戻るかというところ簡単ではなく、一度受容された新たな選択肢はなかなか無視できるものではありません。関連して、講演会やシンポジウムに関する論文ではないものの、*Nature*誌でもオンライン会議と対面会議の比較がなされ、対面会議のよさ（創造的なアイデアが生まれやすい）についての報告がなされています<sup>1</sup>。メタ分析論文<sup>2</sup>でも、オンラインでは対面時よりも認知的負荷が高まり、ストレスや疲労感が引き起こされることが多いことや、非言語的な手がかりの使用が制限されてコミュニケーションの質が低下することなどが紹介されています。こうなるとオンラインの分が悪いのですが、やはり対面は時空間的な制約を受け、コストがかかり、また経験上オンラインイベントに比べて参加者数が大幅に少なくなるように思われます。ちなみにハイブリッドは手間やコスト面から考えると選択しにくいというのが現状かと思います。結局のところ、月並みではありますが、その都度悩みながら、登壇者の先生方、会場、日程、アクセスなどを総合して決める他なさそうです。認定心理士の皆様から開催形式についてのご要望やよい解決策がありましたら是非お聞かせいただければと思います。

（認定心理士の会運営委員会委員 河地庸介）

## 若手の会から

### 日本心理学会若手の会メンバー募集

日本心理学会「若手の会」は心理学に関わる若手間で情報交換を行いながら、ネットワークを構築することで、若手会員間の交流を促進し、幅広い分野の研究・教育・応用を融合し、心理学の今後の発展や社会に貢献していくことを目指して活動しています。

若手の会は2013年に発足し、現在、若手の会のメンバーは約280名が登録されており、幹事は9名で運営しています。

若手の会は、毎年、日本心理学会において「若手のための進路相談会」「若手にとって重要な課題に関する企画シンポジウム」「学部生・高校生プレゼンバトル」「若手のための大会参加支援」「学会で若手の会のブースを設置し、学部生や修士の方からの相談に乗る」といった活動を行っています。また、学会以外でも「異分野間協働懇話会」を3月に実施しています。

活動内容の詳細は、以下のウェブページのニューズレターをご参照ください。過去のニューズレターからこれまでの若手の会の歴史を感じることができ、内容も非常に興味深いです。

<https://wakate.psych.or.jp/letter.html>

若手の会のメンバー登録は以下のページより、いつでも可能です。メンバーに登録されると、学会や研究会、公募の情報をメーリングリストで受け取ったり、共有することができます。心理学関連の情報収集にお勧めです。また、毎年4月には若手の会幹事の募集を若手の会メーリングリストで行っています。若手の会は、一緒に活動を盛り上げてくださる素敵な仲間を募集しています。

<https://wakate.psych.or.jp/greeting.html>

（若手の会代表幹事 井上和哉）

1 Brucks, M. S., & Levav, J. (2022) *Nature*, 605, 108–112. 2 Seitz, J. et al. (2024) *Int J Hum Comput Stud*, 182.